

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

事業名 清流長良川あゆパーク活用促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部里川振興課水産係 電話番号：058-272-1111 (内 2912)

E-mail：c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,000千円 (前年度予算額：2,000千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,000	275	0	0	0	0	0	0	1,725
要求額	2,000	275	0	0	0	0	0	0	1,725
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

清流長良川あゆパークの活用促進に係る経費 (事務経費を含む。)

(2) 事業内容

① 50万人達成イベントの開催

パークオープン後も引き続き集客を図るため、50万人達成など節目となる時期にイベントを開催

② パークを拠点とした地域活性化協議会による事業の実施

(ア) 協議会の開催

(イ) 活性化事業及び広報活動の実施 等

(3) 県負担・補助率の考え方

① 50万人達成イベントの開催

県で負担

② パークを拠点とした地域活性化協議会による事業の実施

県と郡上市で同額 (1,000千円) を負担

3 事業費の積算内訳

歳出

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	275	業務旅費
消耗品費	151	式典等開催に伴う消耗品
役務費	24	郵便料及び記念品送料
業務委託料	550	イベント開催に係る委託料
負担金	1,000	パークを拠点とした地域活性化協議会負担金
合計	2,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画（令和3～令和7年度）

第5章 1（3）⑥ 鮎を守り育てる体制の構築

(2) 国・他県の状況

東京都と葛飾区が、都立水元公園周辺の活性化を進めるため、地域の方々と協働で水元公園地域活性化協議会を設置し、同公園周辺の活性化に向けた事業や公園の活用について検討し、活性化事業を実施している。

(3) 後年度の財政負担

パーク供用開始後の事務経費や内水面漁業の振興やG I A H Sの紹介等にかかる委託費及び地域活性化協議会負担金については、継続的な負担が必要である。

(4) 事業主体及びその妥当性

パーク供用開始後の事務経費等並びにパークの利用促進及び活性化に係る経費であり、県が主体となって実施することが妥当である。

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいか
 毎年、パーク利用者数10万人を目指すとともに、県内小中学生による体験学習参加者1800人を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
パーク利用者数	(H)	164,170 (H30)	219,774 (R1)	219,774 (R1)	100,000人	219.8%
体験学習参加者数		1,402 (H30)	2,306 (R1)	2,306 (R1)	1,800人	128.1%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 50万人達成イベントを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、50万人達成は来年度へ持ち越しとなった。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 オープン3年目を迎える中、新型コロナウイルス感染症の影響もあり節目のイベントは実施しなかったが、岐阜県を中心とした広報、SNSを使用した情報発信を行い、あゆパークの認知度向上、来場者数の確保に努めた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 供用開始後の事務経費等並びにパークの利用促進及び活性化に係る経費であり、県が主体となって実施することが妥当である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ○ あゆパークで漁業体験をすることで、魚釣りに関心をもってもらうことができた。 [アンケート結果] 魚釣りをしたことがある・・・38% 漁業体験を通じて釣りをしてみたいくなった・・・94%
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ○ G I H A S 紹介映像について、処分制限期間が満了する時期を目途に新規紹介映像を制作するなど、事業の実施方法の効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 遊漁者数が減少しつつあることから、小中学生に魚釣りに興味をもってもらう必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか あゆパークを何度も利用してもらえよう体験メニューやシアターの有効活用が求められている。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	